修学旅行で クラスみんなからもらった 大きな大きな「学び」

共立女子中学高等学校　久我菜摘

第8回は、東京都千代田区・共立女子中学高等学校、久我菜摘さんが、5月に参加した九州への修学旅行において、旅行委員としてクラスをまとめるなかで、41名のクラスみんながプレゼントしてくれた「学び」について語ってくれます。

修学旅行で人生の糧を見つけたい、自分を高めたいという思いを込めて、旅行委員に立候補した久我さん。まだお互い名前を知らない人もいるクラスをまとめる大役を、あえて自分に課しました。自分にできるだろうかという大きなプレッシャーの中、苦しみながらも前向きな気持ちを忘れずに、クラスのみんなに懸命に働きかける久我さんの気持ちはみんなの心を動かし、久我さんの呼びかけに、「静かにしよう」という声が自然に起こるまでになりました。クラスがすっかりひとつになって、全員で佐世保バーガーを食べにも行くほど。そして旅の終わりにみんながかけてくれた、「五日間お疲れ様、ありがとう」の言葉。

今振りかえって、久我さんはこの修学旅行が与えてくれた「学び」の大きさを改めてかみしめています。人をまとめることの難しさ、実際にクラスを一つにまとめあげた達成感。そして何より、自分に協力してくれた素晴らしいクラスメートと、このような機会を与えてくださった学校への限りない感謝。これからの人生に向けての大きな自信を与えてくれた、生涯忘れられない旅となりました。

久我菜摘さん

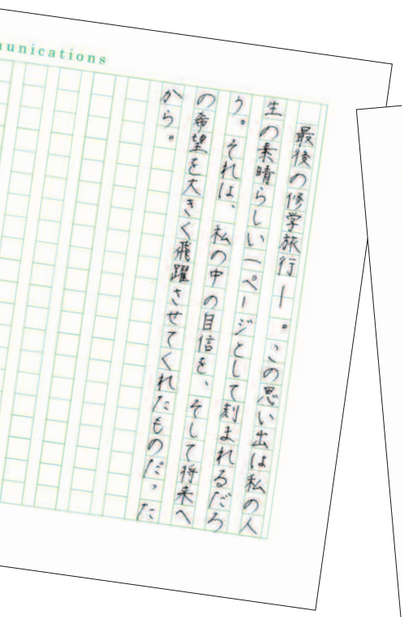
共立女子中学高等学校（東京都千代田区）

長崎の観光名所の眼鏡橋
「日本を旅するのもいいもんだ！」って思いました。

浦上天主堂
「平和学習」という意味も込めて、長崎も訪問しました。

もう一人の旅行委員・小澤さんと、バスの運転手さん、ガイドさん
運転手さん、ガイドさんとは5日間ずっと一緒で、クラスですっかり仲良しになりました。最後の日、別れ際にはみんなで大泣きしました。

Viva!Communications
SCHOOL


Viva!Communications
SCHOOL

柳川にて担任の望月先生と
九州各地を回り、現地の人々のさまざまな暮らしにも触れて、日本の魅力を再発見した旅でもありました。

有田焼工房にて

ハウステンボスにて
お花がとってもきれいでした。

ハウステンボスにて
旅行前はお互い名前も知らないほどだったのに、すっかり仲良くなり、このあとクラス全員で佐世保バーガーを食べに行きました。